

アプリカタログを利用したアプリケーション配布例

2019/02/04

本ドキュメントは、Workspace ONE (AirWatch)の機能の一つである iOS デバイスに対する「アプリカタログ」を使用したアプリケーション配布例が記載されております。

※ バージョン 9.4 より、コンソールの名称が“AirWatch Console”から“Workspace ONE UEM Console”に変更されました。

目次

1	アプリカタログの設定、配布.....	2
1.1	構成プロファイルを利用した設定.....	2
1.2	システム設定項目からの設定.....	4
1.3	MDM を使用しないアプリカタログの設定.....	6
2	アプリ導入の制限(iOS のみ).....	12
2.1	パブリック iOS 制限モード.....	12

1 アプリカタログの設定、配布

1.1 構成プロファイルを利用した設定

管理コンソールで、[デバイス] > [プロファイルとリソース] > [プロファイル]をクリックし、[追加]から[プロファイルを追加]をクリックします。

[プラットフォームを選択:]で[iOS]をクリックします。

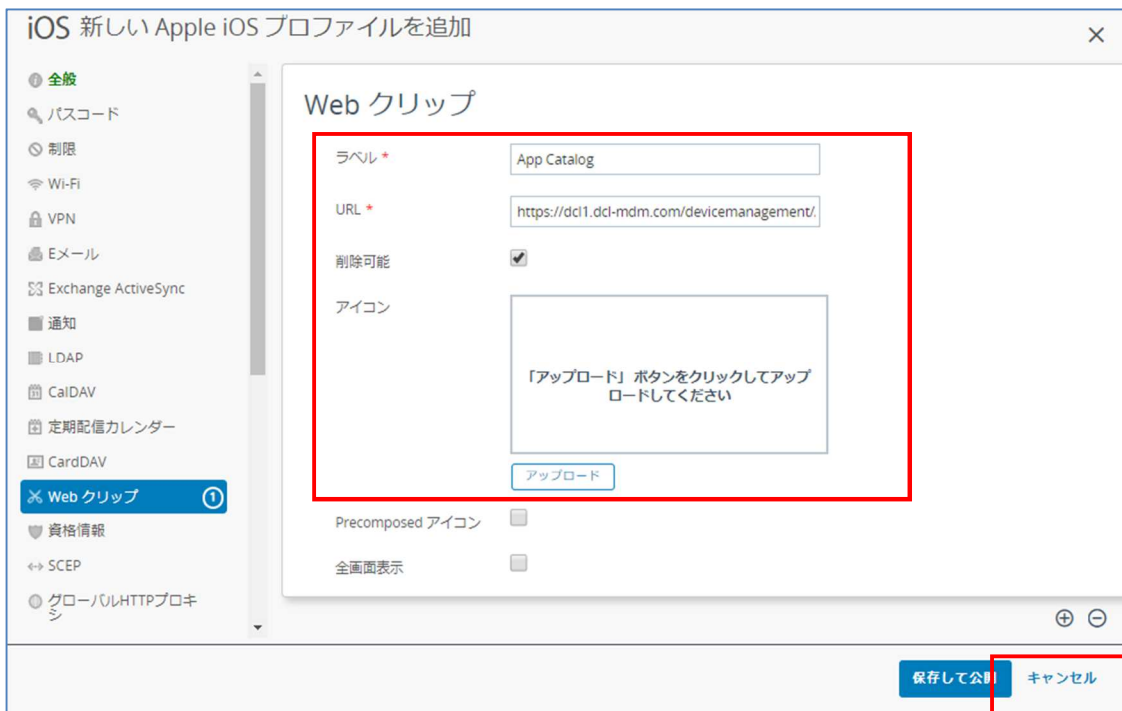
[全般]に対し必要な項目を入力します。

名前* : プロファイルの名前を入力します。

割り当てタイプ : 自動、オンデマンドから選択します、今回は自動を選択します。

スマートグループ : プロファイルを割り当てる、組織グループ、又はスマートグループを選択します。

[Web クリップ]で[構成]ボタンをクリック後、以下を設定し、[保存して公開]をクリックします。



- ラベル* : 任意の文字列（ここでは” App Catalog” を設定しています）
- URL* : <https://dcl1.dcl-mdm.com/devicemanagement/AppCatalog?uid={DeviceUid}>
※必ず上記 URL を使用してください
- 削除可能 : チェックを外すと、当アイコンの削除を禁止します
- アイコン : 任意の画像ファイルをアップロード

プロファイルの配布先を確認し、[公開]をクリックします。



デバイスのホーム画面にて Web クリップで設定した[ラベル](App Catalog)のアイコンが現れます。

※ここでは Web クリップで[アイコン]未設定時の表示です。



「App Catalog」をタップすると下記画面(Safari)に遷移します。

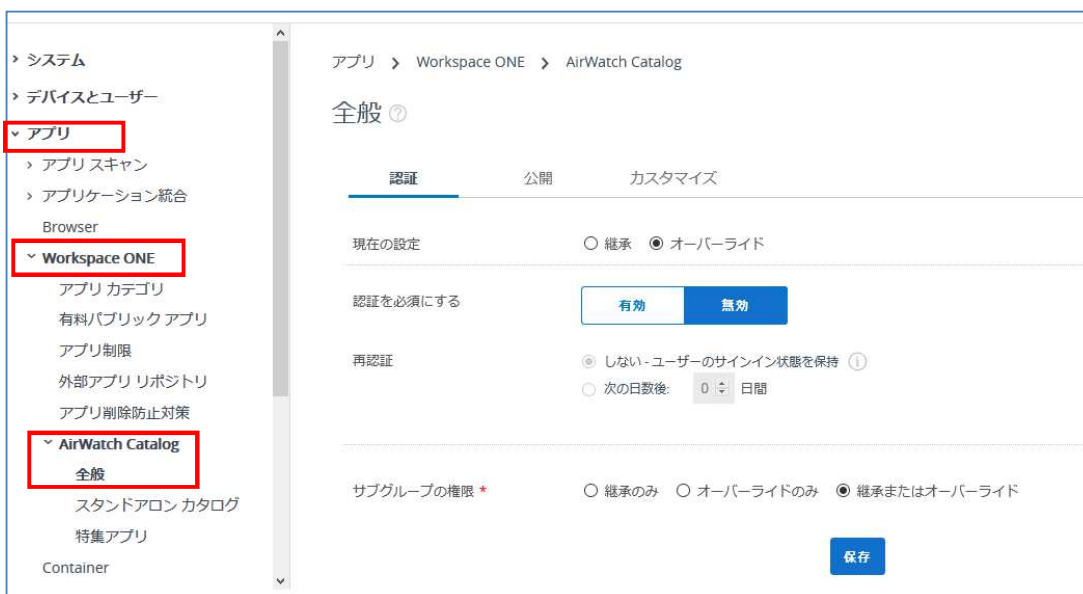
管理コンソールの「パブリック」に登録したアプリケーションが表示されます。



当該画面にて、任意のアプリケーションをインストールする事が可能となります。

1.2 システム設定項目からの設定

管理コンソールで、[アプリとブック] > [すべてのアプリとブックの設定] をクリックし、[Workspace ONE] > [AirWatch Catalog] > [全般]をクリックします。



[公開]タブをクリックし、[レガシーカタログ(iOS)]の設定を[有効]にして[保存]をクリックします。



デバイスのホーム画面にて「App catalog」アイコンが表示されます。



デバイス側での削除は禁止となっていますので、削除が必要な場合は、上記の[iOS]の設定を[無効]にします。



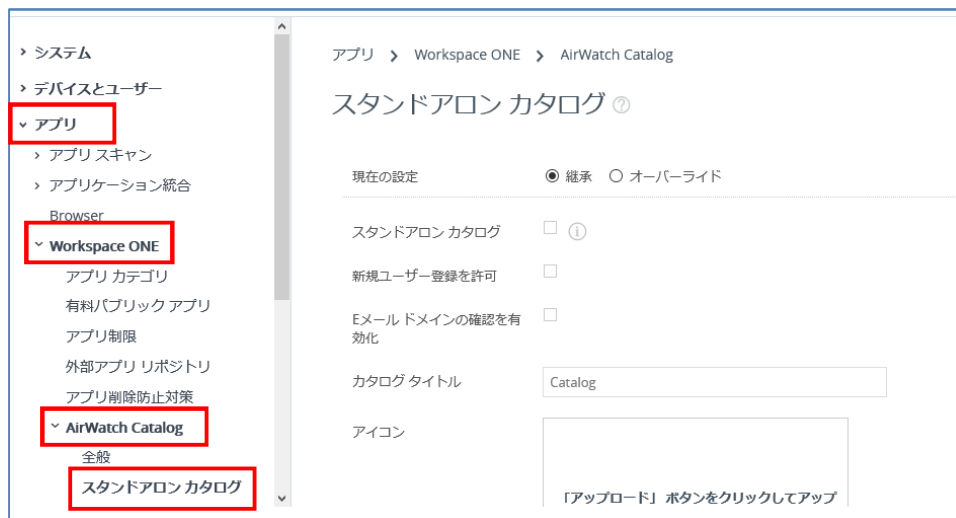
1.3 MDM を使用しないアプリカタログの設定

本機能は、対象の組織グループ上に既に MDM 加入を実施しているデバイスがある場合ご利用頂けません。本機能を利用するには、以下の条件が必要となります。

- ・ 設定対象の組織グループが、最上位組織グループ直下(第2階層)に作成されていること
- ・ 対象の組織グループ上に MDM 加入済みのデバイスが存在していないこと

上記グループに、MDM 登録を実施せず、アプリカタログのみを利用するデバイスを所属させます。

[アプリとブック] > [すべてのアプリとブックの設定] をクリックし、([アプリ] >) [Workspace ONE] > [AirWatch Catalog] > [スタンドアロン カタログ] をクリックします。

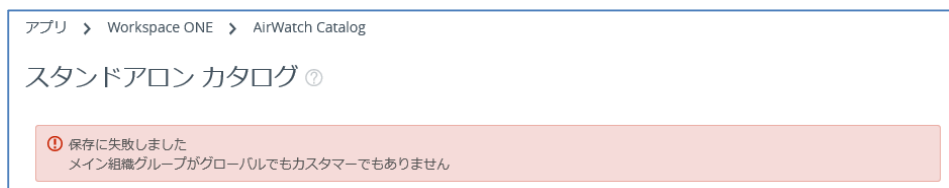


[現在の設定] を [オーバーライド] にし、[スタンドアロンカタログ] に対しチェックを入れ、[保存] をクリックします。



以下の場合、設定保存の際にエラーメッセージが表示され、設定を保存できません。

- ・設定対象の組織グループが、最上位グループの直下(第 2 階層)に作成されていない
- ・既に MDM 加入したデバイスが存在している



[アカウント] (> [ユーザー] > [リスト表示]) をクリックし、[追加] > [ユーザーを追加] をクリックします。



[ユーザを追加/編集]画面で必須情報を入力します。

[メッセージタイプ]を[E メール]にし、[メッセージテンプレート]が[MAM Admin-Initiated New User Activation(HTML)@Global(規定のテンプレート)]になっている事を確認し、[保存してデバイスを追加]をクリックします。

ユーザーを追加/編集 ×

Eメールアドレス*

Eメールのユーザー名

ドメイン

電話番号

> 加入

▼ 通知

メッセージタイプ* なし Eメール SMS

メッセージテンプレート MAM Admin-Initiated New User Activation (HTML)@Global(既定) メッセージのプレビュー

メッセージテンプレートを構成 [🔗](#)

保存
保存してデバイスを追加
キャンセル

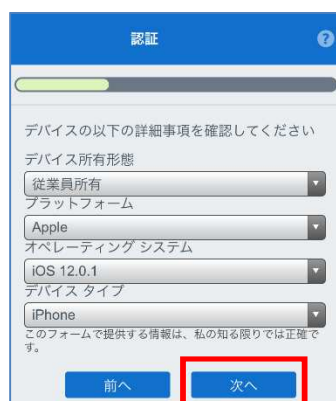
上記で記載した『宛先アドレス』へメールが届く事を確認します。
 デバイスで、下記の URL リンクをタップします。



上記メールに記載のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をタップします。



デバイス情報を確認し、[次へ]をタップします。



下記画面に対し[許可]をタップします。



下記画面にて[インストール]をタップします。



デバイスのパスコードを入力後（パスコード設定時）、画面下部の[インストール]をタップします。



[完了]をタップします。



下記画面が表示される事を確認します。



[設定] > [一般] > [プロファイル] にてプロファイル App Catalog Only Webclip/V_X がインストールされる事を確認します。



デバイスのホーム画面に表示される Catalog アイコン事をタップします。



AirWatch によって管理されている管理アプリが表示される事を確認します。



管理コンソール側確認

管理コンソールの[デバイス] > [リスト表示]で加入状態が[スタンドアロンカタログ]のデバイスが表示されます。デバイス情報画面にて、『管理元 カタログ』と表示される事を確認します。



デバイスの詳細[概要]タブの[セキュリティ]に[管理元 カタログ』と表示されます

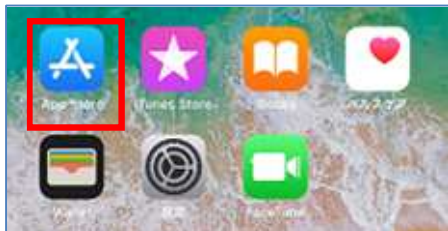


2 アプリ導入の制限 (iOS のみ)

2.1 パブリック iOS 制限モード

本機能と App Catalog を併用する事により、Workspace ONE UEM(AirWatch)で管理されているパブリックアプリのみを 対象デバイスに対してインストールさせる事が可能となります。

デバイスのホーム画面に『App Store』のアイコンが表示されている事を確認します。

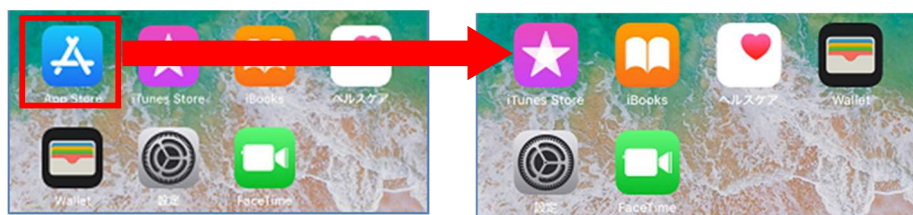


管理コンソールで[アプリとブック] > [すべてのアプリとブックの設定] (> [アプリ]) > [Workspace ONE] > [アプリ制限]をクリックします。

[現在の設定]を[オーバーライド]にし、[パブリック iOS アプリ制限モード]に対しチェックを入れ、[保存]をクリックします。



当該組織グループに登録されている iOS デバイスに対して、App Store をブロックする制限プロファイルが送信され、デバイスのホーム画面から『App Store』のアイコンが削除され、App Catalog からのインストールのみ可能となります。



以上がアプリカタログを利用したアプリケーション配布例です。